

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 3 月

計画の名称	福井市の下水道事業による快適な生活環境創造計画																	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成27年度 (6年間)					交付対象	福井市											
計画の目標	下水道整備による快適な暮らしの実現と、温室効果ガスを排出抑制し環境負荷を軽減する。																	
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を79% (H22) から85%(H27)に増加させる。 ②汚泥消化ガス有効利用率を54% (H22) から80%(H27)に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考							
									当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)						
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (H21末 : 265,457人)									79%	83%	85%							
②汚泥消化ガス有効利用率 汚泥消化ガス利用量 (m3/年) / 汚泥消化ガス発生量 (1,800千m3/年)									54%	80%	80%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,046.8百万円	A	6,875.2百万円	B		C	1,171.6百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	14.6%								
<b>事後評価</b>																		
○事後評価の実施体制・実施時期																		
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期													
福井市下水道部内において実施。					事業終了後													
					公表の方法													
					市のホームページ上で公開。													
1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
A 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-6	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	新設	日野川浄化センター	消化ガス有効利用装置	福井市							352.1	
1-A-16	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水	新設	東郷・花堂汚水幹線外 (未普及対策)	汚水管φ200～450mm L=105,260m	福井市							6,417.9	
1-A-22	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水	新設	効率的な事業実施のための施設計画策定	施設計画策定	福井市							97.8	
1-A-32	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水	増設	大瀬ポンプ場 (増設)	汚水ポンプ増設	福井市							7.4	
小計 (下水道事業)																	6,875.2	
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
									福井市									
合計																	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考							

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-2	下水道	一般	福井市	直接	—	改築	境浄化センター	MICS関連前処理施設改築	福井市							182.2	
1-C-3	下水道	一般	福井市	直接	—	新設	污水管枝線整備（日野川処理区）	φ200 L=30,000m	福井市							989.4	
										合計						1,171.6	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-2	下水道未整備区域内のし尿等を下水道処理場において処理することにより、消化ガス発生量を増大させ、消化ガスの有効利用の向上を図る。																
1-C-3	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、効率的・効果的に整備を図り、生活環境の改善および公共用水域の保全に資する。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>未普及対策は、H27年度末には、4,868.5haが供用開始済みであり、福井市全体の人口に占める汚水処理（公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水）の普及率は、94.1%となっている。東藤島、東郷、文殊地区等のエリアの普及拡大が図られた。</li> <li>消化ガス発電は、平成26年2月に供用開始し、順調に消化ガスにより発電を行い、消化ガスの有効利用を図っている。</li> <li>境浄化センターのし尿投入所の受電盤等の更新により、設備の機能の維持が行われ、安定的な消化ガスの発生に寄与している。</li> </ul>								
II 定量的指標の達成状況	①下水道処理人口普及率	最終目標値	85%	目標値と実績値に差が出た要因	計画に位置付けた事業を完了でき、計画通りの普及率を達成できた。					
		最終実績値	85%（達成）							
	④汚泥消化ガス有効利用率	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因		計画に位置付けた事業を完了でき、順調に消化ガス発電が稼働している。				
		最終実績値	81%（達成）							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		普及拡大に伴う汚水量の増加に対応するため、大瀬ポンプ場の汚水ポンプ増設の設計を行い、安定的に処理場へ送水できる環境を整えた。								
3. 特記事項（今後の方針等）										
今後とも引き続き効率的に普及拡大に取り組み、汚水量増加に対応するための大瀬ポンプ場のポンプ設置事業を推進する。										

計画の名称	福井市の下水道事業による快適な生活環境創造計画		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成27年度 (6年間)	交付対象	福井市

